

神奈川県議会議員

石川ひろのり

県議会レポート2020 vol.19



石川ひろのり事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階
TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8933

<http://www.hiro-ishikawa.jp/> 石川ひろのり



「協力金、補助金交付の遅延は許されない」 予算委員会にて中小企業再起支援について質疑！

10月6日、予算委員会において飲食店など中小企業再起支援に71億円が計上された補助金について質疑を行いました。

補助金交付決定の遅れを指摘

石川 今回の9月補正予算で、中小・小規模企業の再起支援事業に約71億円が計上されている。この補正予算額には、感染拡大防止対策や、デリバリーやインターネット販売に取組む経費に対して補助する「中小企業・小規模企業 再起促進事業費補助金」の増額分が含まれている。この公募はすでに締切られているが、現在の交付決定状況を伺う。

中小企業支援課長 10月2日時点で申請件数3,745件の申請に対して、3,334件の交付決定となっている。

石川 この支援事業のホームページを見ると、赤字で「再起支援型」の審査結果は、順次送付していますが、書類の確認作業等に時間を要している状況です。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。9月末までには、審査結果を送付すべく、作業を進めているのでご理解くださいといった表示が今もされている。この事業は5月22日から公募が始まり、申請期限は6月末であった。5月、6月の申請数と9月までの月ごとの交付決定件数とその審査体制について伺う。

中小企業支援課長 申請件数については、5月117件、6月2,672件、郵便申請があり7月1,229件となっている。交付決定件数は、6月263件、7月256件、8月550件、9月2,528件という状況である。審査体制については、県職員50名体制で電話、申請処理を行っていた。

石川 交付決定が遅れている中で審査体制に変更はなかったのか。

中小企業支援課長 当初はもう少し少ない人員で行っていた。その後、審査処理をする中で、平均で50名の体制となった。

補助金交付体制の準備は大丈夫なのか

石川 支援事業の中の、つい立やビニールカーテンの設置、デリバリーサービスを新たに進めたいという飲食店の方々等が申込まれたモデル事業の申請件数は約3,000件超、この支援事業全体の75%を超える申請数となっている。つまり、**コロナ禍の厳しい経営環境の中で、客数はコロナ以前に戻らないかもしれない、それでも感染防止対策を取ったうえで事業を継続していきたいという想いで申請されている。**また、途中問い合わせをしても審査中と言われ、補助金が出るか出ないかわからない状態で待たされていた。そして、交付決定を受けた採択事業者は県に対し、これから数多くの必要書類を提出し、県はその書類を受理してから審査、交付までに4週間程度かかるとしている。今、約3,200件の交付決



定がなされ、すでに補助金
が支給されたのは15件である。これから3,000件以上の申請が来るのが分かっている。また、この事業の実施期間は来年1月15日までとなっている。**申請が集中したとしても確実に4週間で交付が行われる体制なのか。**

中小企業支援課長 2月、3月に申請が集中すると予測している。今後、交付の遅延がないよう体制の準備を進めていく。



新型コロナ感染拡大防止協力金について

石川 前回7月6日の予算委員会で交付の遅れや委託業者との契約について質疑を行った。協力金第1弾においては、電話、メール、手紙などなかなか先方と連絡が取れず、未だ400件が処理案件となっている。今後しっかりと周知を行ったうえで、どこかの時点で**交付に期限を設ける必要があると考える。**

事業所支援担当課長 申請書類の不備等でさまざまな手段で**複数回連絡を取っているにもかかわらず、連絡が取れない事業所がある。**そこで、長期間にわたり連絡が取れない申請者に対して、改めて申請者に期限を区切った上で追加書類等の依頼を郵送し、

それでも返信がない申請者に対しては不交付通知を送付する対応を、10月中を目処に行っていく。

石川) 次に、委託業者との契約の問題について伺う。協力金第1弾について仕様書には「受注者は、必要かつ十分な人員を確保したうえで、業務量に応じた適正な人員配置を行う」となっていたにもかかわらず、県が職員250名を動員しなければならなかった上に、大幅に業務が遅れ、委託業者とは契約のみ1か月延長し、延長分の契約については協議をしていくとの答弁が前回あった。この内容はどのようになったのか。また、仕様書にはこの業務履行に係る細部事項等について、発注者より協議の要請を受けた場合は、速やかにこれに応じると書かれている。業者から契約延長の協議の申し出があったのか。

事業所支援担当課長) 協力金交付事務は、業務委託としたが業務が遅れる中で、県職員が審査や電話体制にあたるなど県の負担が発生している。一方、委託業者は契約期間内に業務が終了せず期間を延長したことにより想定以上の経費負担が発生したと主張し

ている。委託業者からは契約満了日の6月30日に契約延長の申し出があった。現在、費用負担について委託業者と協議を進めている。

石川) 契約の内容を決めずに、契約の期間だけ延長する。そして、その後協議する。この契約の延長の仕方の問題があったのではないかと指摘しておく。税を使って委託をする以上、業務の執行責任には透明性が求められる。今後、県民に対してしっかりと説明を果たして頂きたい点と、企業支援に関して、再起促進事業の交付決定や協力金についても、事業者への通知や協力金が届くまでに時間がかりすぎている。今後の支援について、迅速な対応を強く求める。

産業労働局長) 協力金については、現在、委託業者と協議中である。協議が整い次第、しっかりと説明させて頂く。今後、困難に直面した事業者の支援については事業者の目線に立ち、簡素化、要件の緩和を行っていく。そして、不備を少なくし、スピーディーな審査、交付を行う。

活動報告

しまりすアートクラブ作品展

9月、お声掛けをいただき、麻生市民ギャラリーで開催された「しまりすアートクラブ作品展」にお伺いしました。コロナ禍ということもあり、検温や連絡先の記入など入場時の感染予防対策を徹底されていましたが、開催には様々なご苦労もあったとのこと。展示は「ウッドバーニング」という電熱ペンを使って木を焦がし、絵や模様を描いていくというアート。焼きつける時間によって濃淡を表現するという繊細で表情豊かな作品でした。立体的なものから写真と見紛う作品もあり、どれも素晴らしいものでした。作業の工程なども丁寧に説明いただき、芸術の秋に相応しい貴重な一日となりました。



汁守神社 神輿払い

9月、「汁守神社 神輿払い」に伺わせていただきました。例年秋には各神社では例大祭が行われ、地域の方々や子どもたちで賑わいをみせているのですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、中止、または神事のみでの開催がほとんどとなっています。汁守神社でも今年は神事のみでの開催です。感染症対策には万全の注意を払い、密にならないよう配慮されながら厳かに執り行われていました。役員の方々からは、来年こそは盛大に行えるよう、一日も早く収束してほしいとのお挨拶もありました。私も、感染症の収束とその為に力を尽くして闘っておられる方々のために祈念して参りました。



しんゆりフェスティバル・マルシェ

9月、新百合ヶ丘駅南口ペDESTリアンデッキで開催された「しんゆりフェスティバル・マルシェ」へお邪魔しました。例年だと年間に数回開催されているイベントですが、今年は新型コロナウイルス感染症のため中止が続き、昨年12月以降久しぶりの開催となりました。今回の開催にあたり、出店する店舗も20店ほどに規模を縮小し、感染症対策を行いながら開催をさせていただきました。また、出店している各店舗では「川崎じもと応援券」の利用もでき、例年より規模は小さいものの、街は少しずつ日常の彩に戻りつつあるように感じました。新しい生活様式が求められる中、外出などに不安はありますが、一刻も早く収束し、また活気にあふれた街に戻っていくことを願います。



院展

9月、麻生区にお住まいの日本画家 大矢紀先生にご案内を頂戴し、上野にある東京都美術館にて開催されている「院展」にお邪魔させていただきました。昨年に引き続き、お伺いさせていただいたのですが、今年も多く多くの絵画が展示されており、芸術に触れる豊かな時間を過ごすことができました。今回大矢先生が出展された絵画は、地元麻生区の小学校で咲いた花の画だと伺いました。圧倒される鮮やかな色彩、地に散る花びらの一つ一つにも儚さを感じ、奥深い絵画の世界にただただ心酔するばかりでした。



石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選。麻生区在住。引きこもり支援相談士。
趣味：ジョギング（湘南国際マラソン大会5年連続出場。自己ベスト記録3時間29分28秒） 家族：妻、子供一人
好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父親から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。 石川ひろのり

ボランティアスタッフ募集 石川ひろのり事務所では 随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど 短時間でもかまいません。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動へのご支援(個人献金)のお願い 石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。▶石川裕憲後援会【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777)【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへのご意見・ご質問をお待ちしております。 FAX 044-455-6614

ご意見など

お名前	TEL
ご住所	